

平成30年度NPO等による心の復興支援事業（補助事業）一覧

○募集期間：H30.04.09～H30.05.07 ○交付団体数：18件、37,096千円

事業名	事業者	事業概要	交付決定額 (千円)
1 仮設住宅近隣の休耕地を被災者と共に耕作し、収穫物により地域住民との交流会等の実施	特定非営利活動法人稲穂の絆	事業目的：被災者のPTSD、トラウマの払拭の為に、避難先の地域住民とのつながりや、生甲斐を持って前向きに生活できるように、被災者の心のケアによる「心の復興」及び「自立」並びに「快適・安定した日常生活」更には「自己実現」を支援することを目的とする。 事業概要：①避難先の仮設住宅近隣の休耕地を被災者と共に耕作し、収穫物等により避難先の地域住民との交流会を実施する。②避難者の漁業体験を活かし、子どもや観光客に対し、船上漁業体験の機会を提供する。更には、被災地の青年と共に、地域活性化のイベントを企画・実施する。	2,000
2 被災者と地域住民コミュニティのIT活用による絆づくり	公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団	事業目的：復興地域の住民を対象として、交流の場を創るためのパソコン等の簡単な使い方教室と交流会を定期的に開催し、地元住民相互や自治会等との絆づくりと初歩のICT活用につなげる事を目的としている。自治会役員も交えた交流会で地域の絆づくりと活性化につなげ、簡単なICT活用で生活の質の向上、生きがい創りにもつなげる。 事業概要：東松島市、亶理町、石巻市、塩釜市の復興地域の自治会等の協力を得て、1コース3回または5回のパソコン(Word,Excel)、タブレット等の簡単な使い方教室と茶話会的な交流会を7コース開催する。	2,000
3 被災者支援・ふるさと東北支えあい運動	明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会	事業目的：①被災された方と生きる糧になる『生きがい』を共に創っていく仲間として継続的に支え合う②全国から東北を訪れる人を後押し、共に支え合える環境を提供する。 事業概要：①仮設住宅、復興住宅でのお祭り開催支援(地域活性化)②地域コミュニティ支援による地域活性化(まちづくり)③災害復興住宅での趣味の会支援(ものづくり)④仮設住宅での映画鑑賞会支援(世代間交流)⑤東北以外住民と被災者の交流(震災風化防止、震災教育)⑥東北以外の住民の漁業体験(震災風化防止、水産業)	1,994
4 想いをつなげる新たなコミュニティ創生プロジェクト	一般社団法人COMMONS	震災後、新たに生まれたコミュニティにおける地域住民の自主的な取り組み、主として地域で子どもたちを育む活動、地域の高齢者を支える活動、その他、住民による住民のための社会貢献活動を育み、支えていくことにより、住民自身が地域に抱える課題に対し、それぞれの立場で主体的に解決していく良好なコミュニティの形成を図り、その安定化を目指すことを目的とする。 概要：地域住民の想いに基づき、私有地を活用したまちの子どもたちのための体験農園及び自然観察園等の整備とともにそれらを活用した地域の子どものための体験活動、その他、地域の課題に合わせた多世代交流事業等を実施する。合わせて、弊団体のもつノウハウを活用しながら、地域住民が主体的に担おうとする様々な社会貢献活動について、企画段階から実施、将来的な自立化までをサポートしていく。	3,000
5 地域住民による町の教育復興を考えるワークショップ「南三陸町子ども未来会議」	一般社団法人クリエイタス東北	事業目的：多くの課題を乗り越え、南三陸町の復興を実現するためには、地域内外が連携して、長期的に、南三陸町の復興を担う人材を育成する必要がある。子どもたちの被災経験がハンデとして固定化されてはならない。この経験を乗り越え、社会で活躍できる人材を育成し、南三陸町の新しい未来を創ることが教育の使命である。教育を立て直し、南三陸町の子どもたちの夢をかなえるために、これまでの価値観にとらわれない思い切った取組を進めていく必要がある。 事業概要：南三陸町では2018年度7月より町の復興を担う人材育成を推進していくために「南三陸町教育将来構想協議会」を発足させる。この将来構想協議会では、南三陸町の地域資源を活用した新たな人材育成のモデルづくりに取り組む。しかし、協議会だけで人材育成の仕組みを考えるだけでは、地域住民の当事者意識を育むことは難しいため、南三陸町教育将来構想協議会と連携し、南三陸町の子どもと大人が集まり、町の教育復興について考え対話する場として、「南三陸町子ども未来会議」を実施する。町のこれからの教育や理想の学校をテーマに話し合い、意見交換を行う。地域住民の声が、新しい教育づくり・地域づくりに生かされる。	1,527
6 「今を支え・未来を育てる～心と身体に優しい循環プログラム～」事業	特定非営利活動法人スマイルシード	事業目的：震災で全てをなくし住み慣れた地域を離れなければならない人口減少地域である渡波地区、最大規模の蛇田災害公営住宅への転居者、いずれも生活再建の中ですが経済格差や急速な高齢者とお一人様、孤立や引きこもり、心に不調を抱える高齢者や若者の増加は深刻化しています。そこで心と身体を豊かにし健やかな生き方、関わりかたを継続的に目標や希望が生まれ誰もが、支え合いながら、生きがいを持って互いに生きていくことが心と身体への優しい環境づくりを目的とする。 事業概要：①室内「和物づくり」/パリエーション豊かな伝統作品作りを習うことで向上心を養い、目標を持つことで生きがいづくりと張りのある生活へ導く。②野外農園作り：特産野菜は就労体験や将来的に販路開拓など目標設定を行う。花壇美化等地域貢献への意識づけなど、他者との関わりや繋がりを通じて寄り添い支え合いのための手に触れて成果を見出す実践活動。	2,000
7 足のケアと対話することで心と体を癒し宮城の食を堪能する	一般社団法人復興支援士業ネットワーク	事業目的：①震災以後、体調を崩し自宅に引きこもっている方々に対してリラックスできる場所を提供する。専門家がアドバイスをすることで健康に関して新たな気づきが生まれる。病気の予防や明日に向かっての希望の場としたい。あわせて近所関係が希薄といわれる昨今である。災害公営住宅にお住まいの方にとっても新たなコミュニティの場にしていきたい。②災害公営住宅の方々はみんなで遠出をしたいという希望がある。当社は石巻市雄勝町とつながりがある。そこで取れた魚介類で作った料理の紹介やBBQを行うことで宮城の食を改めてPRしたい。 事業概要：①東日本大震災をうけ家に引きこもりがちの方々と高齢者をフットケア(足の裏角質ケア・マッサージ・自分で爪切りができない方への爪切り)を通じてリラックスをしてもらう。あわせて自分でフットケアができるようにプロが教えることで、自分自身で足のむくみ・疲れの解消が可能となる。フットケアを通じて会話を促し元気になってもらう。②自宅にいないだけでなく、バスに乗り石巻市雄勝町を訪問し、そこで採れる季節の魚介類を食べて元気になってもらうとともに、同じ被災地である雄勝町の方々と交流することで元気になってもらう。	2,000
8 避難者が多く住む、高齢化率38.6%の鶴ヶ谷を再び明るく元気な街へ	つるがや元気会	事業目的：家に引きこもりがちになる高齢者も、外に出やすくなる、出たくなる仕組みを考え、実践する事で、大震災の被害に負けず、一時も早く立ち直り、明るく元気のある、住んでいて良かったと思う町にする。 事業概要：仙台市新興団地で高齢化率が38.6%と最も高く、又県内ブロック別にみても第二位の鶴ヶ谷は、大震災で全半壊した住宅や店舗が18.7%あり、被災地でありながら、438名の方が沿岸部等より避難して住んでおります。避難被災者を含めて、鶴ヶ谷地区を活性化し、明るく元気な町にする為、健康講座・市民講座、童謡を唄う会、ロコモ体操教室、サロン「ほっとカフェつるがや」、「つるがや元気まつり」を開催し又住民の意思で次の50年を創る鶴ヶ谷団地地域再生案を策定する。	2,000
9 地域住民の生活再建、地域コミュニティの形成の促進プロジェクト	NPO法人生活支援プロジェクトK	事業目的：震災後、仮設住宅から再建先へほとんどの住民が転居してから2年以上が過ぎた。今後も誰もが健康で安心して暮らせる地域を目指して住民同士の繋がりがづくりの活動を継続していく。しかし地域住民が出来る役割があればそれを地域に少しずつ返していくことを新たな目標とする。活動当初から大きな柱として健康支援を継続してきたが今年度は「命の大切さ」について世代を超えて幼児から高齢者までを全対象にして伝えていく。 事業概要：高齢者を対象とした支援活動のうちにはしかみの保健室ははしかみ交流広場で、いきいき体操は地域の自治会館で、毎月行なう。乳幼児を対象とした支援活動についてはママのくつろぎタイムは年4回程度階上公民館を会場にして行う。命のお話しタイムは2か所の保育所で開催予定である。地域の繋がりがづくりではコミュニティカフェは常設し、こんにちは訪問は毎月行なう。編み物講座は隔週の水曜日に開催していく。	2,424
10 森林里山の魅力再発見プロジェクト	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	事業目的：震災復興による新たな環境での生活再建はコミュニティの分断を生み出し住民の孤立化等の地域課題が浮き彫りになっている。新たな関係構築を進めていく上で、生き辛さを抱える住民が気軽に集まる事ができる場づくりと関係の再構築を進めていく必要があり、魅力ある地域資源を活用した多様な取り組みを通じてコミュニティの再構築を図る。 事業概要：市民団体や各種支援団体等と連携し、森林・里山の魅力活用をテーマとして、生き辛さを抱える子ども・若者・障害者・高齢者等が、多様な活動への参加を通じて、関係性を再構築し孤立解消と持続可能な関係づくりを推進する。	2,000

	事業名	事業者	事業概要	交付決定額 (千円)
11	子ども同士をつなぐ「石巻地区 こども将棋大会」と大会に向け ての将棋練習会	石巻地区こども将棋大 会実行委員会	事業目的: 地域の子どもたちが集い、交流する場としての将棋大会を行うことにより、地域の子どもたちの健全な育成と、さらに、世代を超えた交流の機会をつくり、子どもたちを起点とする地域の活性化を推進する。 事業概要: 石巻地域で、①「石巻地区こども将棋大会」に向けた将棋練習会(将棋教室)、②正月の「石巻地区こども将棋大会」を実施し、石巻地域の子どもたちに将棋の面白さを教え、将棋を通じた子どもたちの交流を助け、さらに将棋を通じた世代を超えた交流を支援して、地域を活性化する。	1,263
12	被災地の子どもと親・シニアの ためのプログラミング教室事 業～子どもと親にPETSと micro:bitの魅力と可能性を届 けるプロジェクト～	特定非営利活動法人Sy napse40	事業目的: 「子どもと親・シニアのためのプログラミング教室」として、子どもと親・シニアが良質なプログラ ミング教材に触れ、共々問題を解決するための論理的な思考を促し、モノづくりへ発展する被災地と都市部と の学びの地域格差を解消するきっかけをつくる。 事業概要: 各地域の災害公営住宅を中心とした子どもと親を対象にした、PCを使わなくともプログラミングの基 礎を身体で学べるプログラミング学習用ロボットPETSと創造的で可能性が無限大のmicro:bitを使った「子ども と親・シニアのためのプログラミング教室」を大崎市・女川町・石巻市で実施する。成果発表会「2019ものづくり アワード」を開催する。	2,000
13	チャイルドプアへの学習サ ポートと、PTSDに困惑する子 どものケア	チャイルドネットジャパン	事業目的: 被災地の子どもたちに、図書館を夜遅くまで開けている。家に帰っても、ひとりぼっちで、心細い子 どもの為である。チャイルドプアで学習格差の問題に直面している子どもたちに、地域の社会家族というネット ワークで、学習サポートを施すことと不登校やPTSDの現れた子どもたちの心のケアが大きな目的である。 事業概要: 毎週2回(15時～19時)小学生～高校生のための子ども学習サポートを行います。季節ごとのイベ ントや図書の拡充も行い、子どもたちが訪れやすい場所づくりを行う。また、震災による子どものPTSD・不登 校・学習障害に対応するため、塩釜市のうみべの文庫や女川つながる図書館と連携して、子どもの心のケア 勉強会を行う。	2,000
14	石巻地域の仮設住宅、復興住 宅でのコミュニティ形成支援事 業	特定非営利活動法人石 巻復興支援ネットワーク	事業目的: 石巻市およびその周辺の仮設住宅および復興住宅の住民の孤立防止と生きがい創出。 事業概要: 石巻市およびその周辺の仮設住宅団地集会所および復興住宅集会所にて、住民参画型のサロン やイベントを開催する。また、被災地住民と協働して、イベントやワークショップを開催することを通じて、被災 者との交流や被災地・被災者の復興に貢献したいという個人やグループと住民のニーズとをコーディネート し、住民とボランティアとの心の通い合いを築くとともに、震災の風化防止に繋げる。	3,342
15	農業高校生・実践的商品開発 による震災風化防止プロジェ クト	宮城県農業高校経営 マーケティングプログラ ム協議会	本事業では、農業高校でアクティブラーニング授業を実践する。具体的には、高校生が模擬会社を設立し1年 の授業の中で、地域の特産品を使い6次化商品の開発、試作品の作成、ビジネスプランの作成、販売計画、 販売、決算等の過程を、企業やNPOを講師に迎え行う。 目的としては、将来地域復興や再生を担う農業高校生が、製品開発力や課題解決力、ならびに経営に関する 知識を習得する事、同時にプログラムを行うことで他校の生徒同士のつながりを生むこと、宮城県の農産物の 美味しさや宮城県の復興や震災の風化防止を行う。	1,817
16	仮設住宅・復興公営住宅での 支援活動を通じた、東北応援 力・コミュニティカUPプロジェ クト	石巻復興きずな新聞舎	県外からのボランティアの受け入れや市内で活動する他団体と連携したボランティア活動のコーディネート、 および被災地スタディツアーを開催することによって、さまざまな形で東北・被災地・石巻に関わる人材を増や し、震災の風化防止や「石巻応援団」づくりに取り組む。また、仮設住宅・復興公営住宅の住民の孤立防止お よびコミュニティ形成を目的としたサロン活動を行う。	2,000
17	『地域食堂』による居場所と地 域支え合いの場づくり事業	一般社団法人ワタママ スマイル	本事業では、当団体が活動している石巻市東部地区の子どもから高齢者まで幅広い世代の地域住民の『居 場所づくり』や既存の地域住民と復興公営住宅などへ新しく移り住んだ住民との『交流の場づくり』や『地域と のつながりづくり』、さらに『新しいコミュニティ形成』に結び付けていくことを目的とし、『渡波地域食堂たべらい ん』の名称で地域のコミュニティスペースを借用し、対象地域の自治会や小学校保護者会、石巻市社協などと 連携し、地域住民同士で食事作りから会食、後片付けまでを一緒にい交流を深め毎回50名程度の参加者 で毎週1回開催していく。	2,000
18	仙台市若林区六郷東部コミュ ニティ再生プロジェクト2018	一般社団法人ReRoots	事業目的: 500世帯から200世帯に激減し、65歳以上34%、60歳以上50%を超える六郷東部地域では、町内会 活動・祭り・運動会などの地域行事を行うことは困難となり、人のつながりが希薄になってしまった。そこで若い 大学生との世代間交流、地域の農業・文化・人という貴重な資源を生かして、生活の中からプロジェクトを作り 出し、コミュニティの活性化につなげる。外部から人を呼び込んでの交流、自ら地域を美化すること、文化を生 かした祭りとおとして、人のつながりを維持し、元気を引き出す。農業を基礎に日常に根差した企画で高齢者も 参加し、農村ならではの自助・共助のコミュニティづくをめざす。 事業概要: 農村における農業・景観・文化をミックスして、住民の生活の中からつながりと生きがいを引き出 す。①毎週の市民農園利用で恒常的に外部から人を呼び込み、地域の行事に参加してつながりをつくる取り 組み、②美化活動を通じて地元へ愛着をもち、自ら地域を美しくすることで、つながりと生きがいを引き出す取 り組み、③音楽を聴き、しめ縄飾りをつくって新しい気持ちで年を迎える生きがいづくりの3つのプロジェクトを 行う。	1,729